

ISO45001に対するJISHA方式適格OSHMS基準の対比とISO45001移行のご対応

	ISO45001:2018	JISHA方式適格OSHMS基準（審査方法を含む）	ISO45001（JIS Q 45100）へのご対応（注）
4 組織の状況	4.1 組織及びその状況の理解		組織内外の状況を特定し、まとめる
	4.2 働く人及びその他の利害関係者のニーズ及び期待の理解		利害関係者を特定し、そのニーズ・期待をまとめる
	4.3 労働安全衛生マネジメントシステムの適用範囲の決定		適用範囲を文書化する
	4.4 労働安全衛生マネジメントシステム		特段の実施事項はなし
5 リーダーシップ及び働く人の参加	5.1 リーダーシップ及びコミットメント	トップインタビューにて確認	方針における規格要件を明確にする（協議及び参加、継続的改善など）
	5.2 労働安全衛生方針	1 安全衛生方針の表明	
	5.3 組織の役割、責任及び権限	3 体制の整備	
	5.4 働く人の協議及び参加	2 労働者の意見の反映、法令	
6 計画	6.1.1 リスク及び機会への取組み（一般）	6 危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定等	OSHMSに対するリスク、OSH機会及び機会の特定プロセスを作成する
	6.1.2 危険源の特定並びにリスク及び機会の評価	6 危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定等	OSHMSに対するリスク、OSH機会及び機会の評価をまとめる
	6.1.3 法的要求事項及びその他の要求事項の決定	6 危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定等	
	6.1.4 取組みの計画策定		・取組みの計画を作成する ・JISQ45100の場合は必須の取組み事項を加える（健康確保の取組みほか）
	6.2.1 労働安全衛生目標	7 安全衛生目標の設定	
	6.2.2 労働安全衛生目標を達成するための計画策定	8 安全衛生計画の作成	・JISQ45100の場合は必須の取組み事項を加える（健康確保の取組みほか）
7 支援	7.1 資源	3 体制の整備	
	7.2 力量	3 体制の整備	
	7.3 認識	基準全般の周知関係	
	7.4.2 内部コミュニケーション	2 労働者の意見の反映	
	7.4.3 外部コミュニケーション		
7.5 文書化した情報	4 明文化、5 記録		
8 運用	8.1.1 運用の計画及び管理（一般）	9 安全衛生計画の実施等	変更管理に関する定めを整理する（必要に応じ、作成する） ・安全衛生の視点を含む調達基準（外部委託・請負者を含む）を整理する（必要に応じ、作成する） ・請負者選定に関する安全衛生基準を明確にする
	8.1.2 危険源の除去及び労働安全衛生リスクの低減	6 危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定等	
	8.1.3 変更の管理	6 危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定等	
	8.1.4 調達		
	8.2 緊急事態への準備及び対応	10 緊急事態への対応等	
9 パフォーマンス評価	9.1.1 モニタリング、測定、分析及びパフォーマンス評価（一般）	11 日常的な点検、改善等	・必要に応じて、目標・計画のモニタリング結果に基づく改善対応を明確にする ・測定機器の校正が必要な機器を特定し管理する
	9.1.2 順守評価		法的要求事項の順守を確認するプロセスを作成する
	9.2 内部監査	13 システム監査	内部監査にISO45001の内容を付加し、追加部分を内部監査員に教育する
	9.3 マネジメントレビュー	14 OSHMSの見直し	レビュー記録様式をISO45001の要件に合わせて修正する
10 改善	10.1 一般	11 日常的な点検、改善等	・不適合・是正措置の定義を整理する（必要に応じ、作成する）
	10.2 インシデント、不適合及び是正処置	12 労働災害発生原因の調査等	・災害発生時の是正プロセスとして、必要に応じた既存のリスクのレビューと、対策実施時のリスク評価、是正処置の有効性の評価を適宜加える。 ・ヒヤリハットの取扱いを明確にする（例えば、重大ヒヤリ）
	10.3 継続的改善	トップインタビュー、部門ヒアリングで確認	

（注）主な様式例については、当協会発行の「実践！労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001・JIS Q 45100文書例・様式データ集」に収録されています

※ 網掛けについて

■ : プロセス、記録等の整備（整理）する必要がある

□ : 一部、プロセス、記録等の整備（整理）する必要がある